

# 防災・減災は、日頃からの ひとつひとつの積み重ねが大切です。

## 《防災拠点・防災拠点協議会とは》

### 過去の震災では・・・

- 地域の学校で多くの方が避難生活をおくり、学校を中心に情報収集・発信や水・食料の供給が行われた。
- 住民同士、日ごろから子どもを介して等、顔が見える関係があり、助け合いも円滑にできた。



### このことから・・・

震災の発生時には、小学校の学区を単位として、地域の災害対応の拠点を立ち上げます。これを「**小学校区防災拠点**」といいます。防災拠点では、発災初動期を中心に、地域住民と協力した情報収集・発信、本部との連絡、避難生活支援などの応急対策活動を行います。

### 防災拠点とは

市川市で**震度5弱以上**の地震が発生すると小学校近隣に住んでいる市職員（防災拠点要員）が担当の小学校へ参集し、防災拠点を立ち上げます。また、地域の方（防災拠点協議会）と協力・連携して応急対策活動を行い、自助・共助・公助により災害対応にあたります。

### 防災拠点協議会とは

- ① 地域住民の生命を守る
- ② 避難所の混乱を防ぎ、秩序を保つ
- ③ 早急に平常な生活に戻す努力をすること

これらを目標に、地域住民（自治会・PTA・民生委員等）が協力し、災害時のみならず、平常時から減災の取り組みを行っています。

## 《新浜小学校区防災拠点 防災訓練内容》

時間	内容	
9:00	防災拠点立ち上げ訓練	防災拠点要員が、地域の情報収集等の拠点となる、防災拠点を立ち上げます。
↓		
10:00	避難所開設訓練	防災拠点協議会が、体育館にて避難所の開設を行います。
↓		
11:00	避難所訓練	避難者の受付や炊き出しの配布を行います。
↓		
12:00	解散	解散

※防災拠点の立ち上げから避難者の受け入れまでの一連の訓練を行います。 **避難者の訓練は、11時からです。**

※訓練なので時間は前後する可能性があります。